

労務DDからはじまる伴走型IPO支援

社会保険労務士法人 宮嶋社会保険労務士事務所

<https://miyajima-roumu.com>

目次

01	宮嶋事務所の強み 「多角的視点に基づく顧客理解のコンサルティング」	P.3	06	重要性・継続性の原則	P.8
02	労務DD支援の全体像 (本則市場)	P.4	07	未払い残業代への向き合い方	P.9
03	労務DD支援の全体像 (プロマーケット)	P.5	08	指摘事項の改善	P.10
04	労務DDの進め方	P.6	09	自らの言葉で市場に対話できるように	P.11
05	伴走型支援のスタンス	P.7			

多角的視点が生み出す、実質的柔軟なコンサルティング

引受審査の経験
形式ではわからない、
実質基準でのレビュー
やコンサルティング
重要性に応じた優先順
位と対応の濃淡の判断

経営と現場に
寄り添う
IPO伴走支援

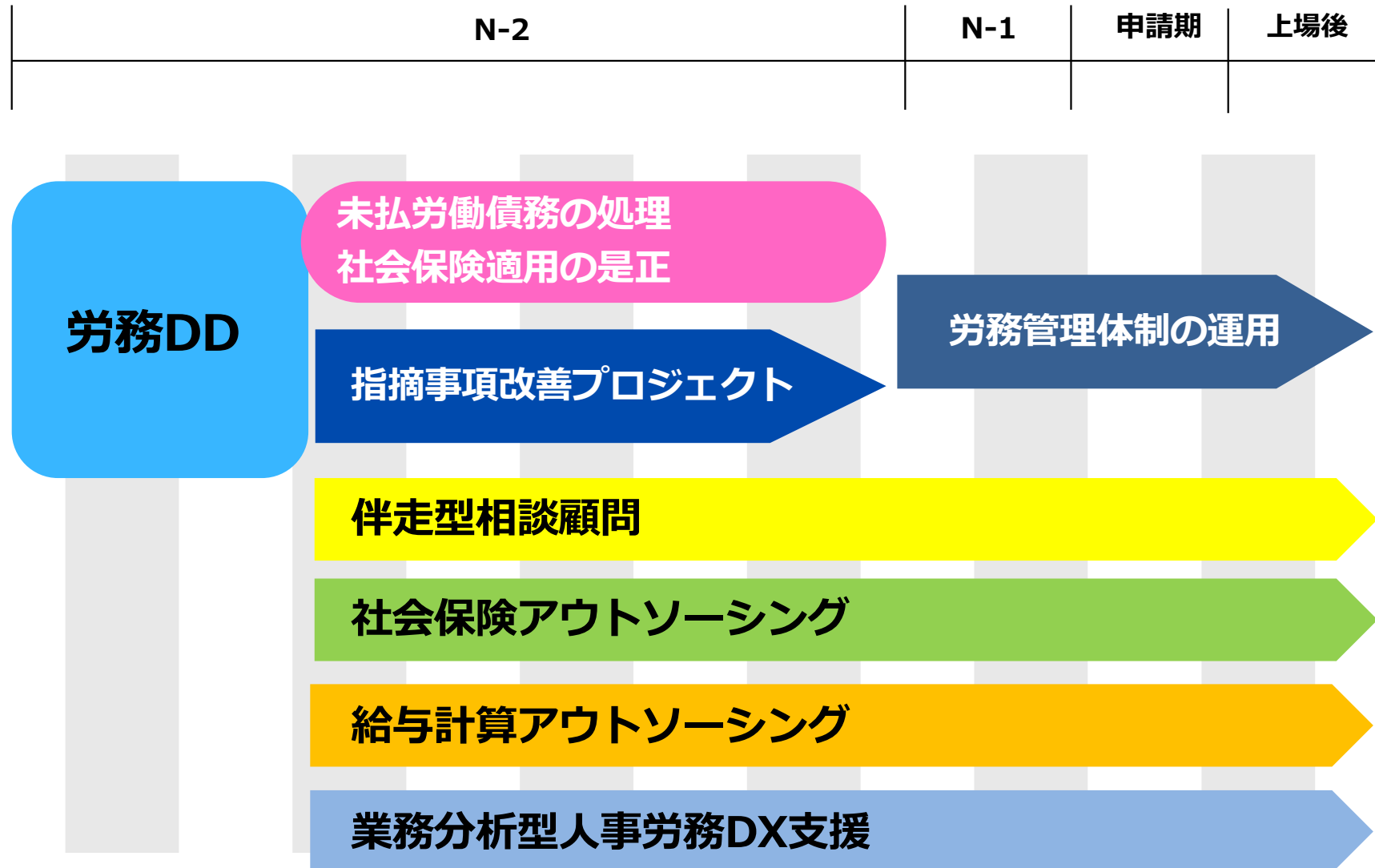
上場企業役員
の経験
会計、会社法における
影響や、内部統制、ま
た株主に対しての説明
責任も考慮できる

事業会社出身の
メンバー
現場のリアリティの理解
事業・業界の特性・慣
行を踏まえたレビュー
やコンサルティング

事務所の仕組みとして担保し、お客様へ価値提供いたします

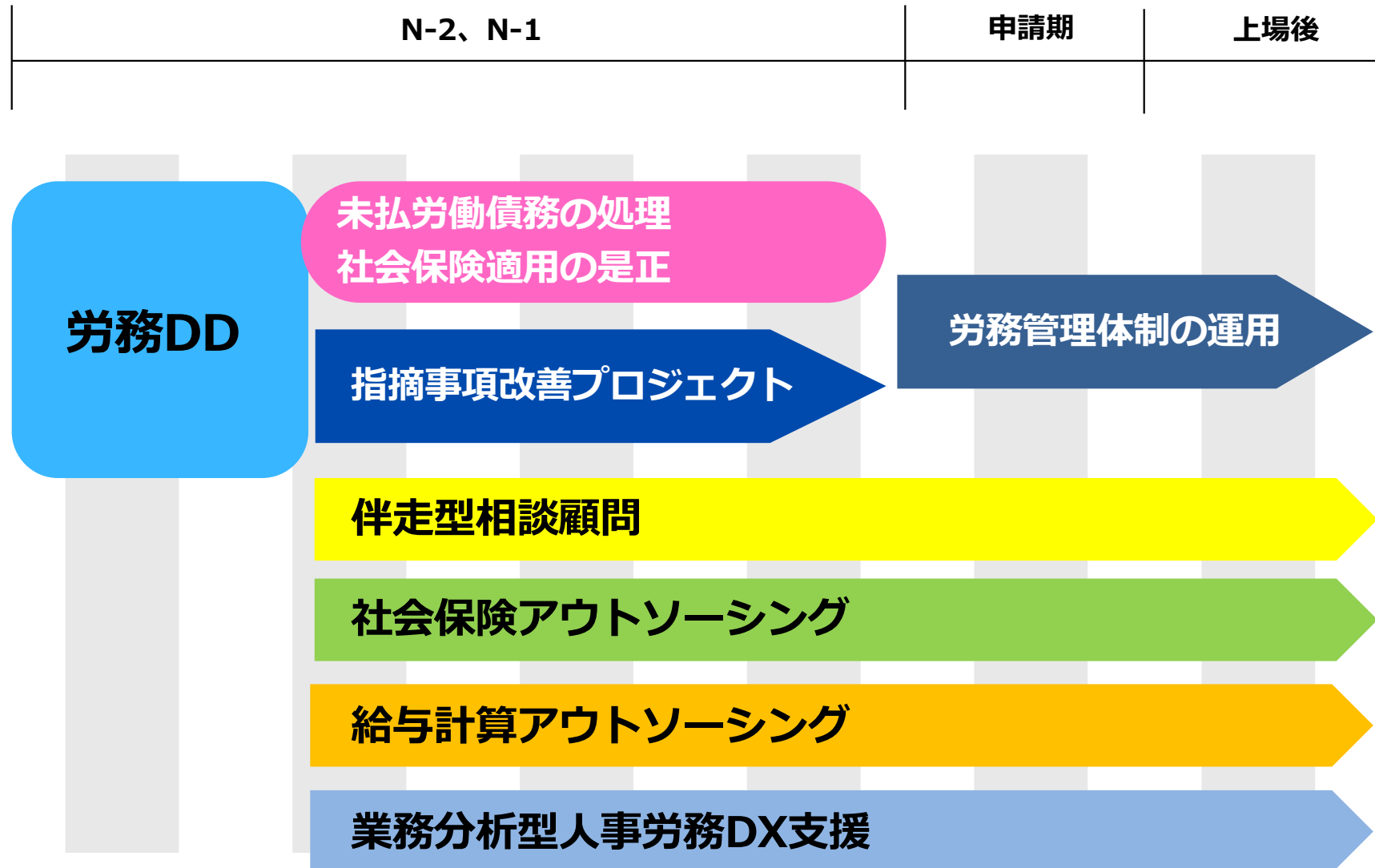
社会保険労務士法人 宮嶋社会保険労務士事務所

労務DDからはじまる伴走型IPO支援（本則市場）



社会保険労務士法人 宮嶋社会保険労務士事務所

労務DDからはじまる伴走型IPO支援（プロマーケット）



社会保険労務士法人 宮嶋社会保険労務士事務所

労務DDからはじまる伴走型IPO支援

労務DDの進め方

①(実施者:弊社)書類・資料依頼

②(実施者:貴社)書類・資料順次ご発送

③(実施者:貴社・弊社)ヒアリング調査およびご報告会の日程調整

④(実施者:貴社・弊社)メール、チャットによる質疑と回答

⑤(実施者:貴社・弊社)貴社の労務ご担当・責任者へのヒアリング調査

⑥(実施者:貴社・弊社)メール、チャットによる質疑と回答

⑦(実施者:弊社)ご報告書納品(目安:報告会実施の3営業日前頃)

⑧(実施者:貴社・弊社)ご報告会実施

※期間は②から⑧まで1か月半から2か月となります

未来の企業価値向上に向けて伴走します

IPO準備に向けての不安

過去の労働債務について
厳しく追及される

杓子定規な法律論を押し付けられ、事業のスピードが落ちる

個社の状況を見越した非現実的な解説策を提示され、経営陣と現場に疲弊がたまる

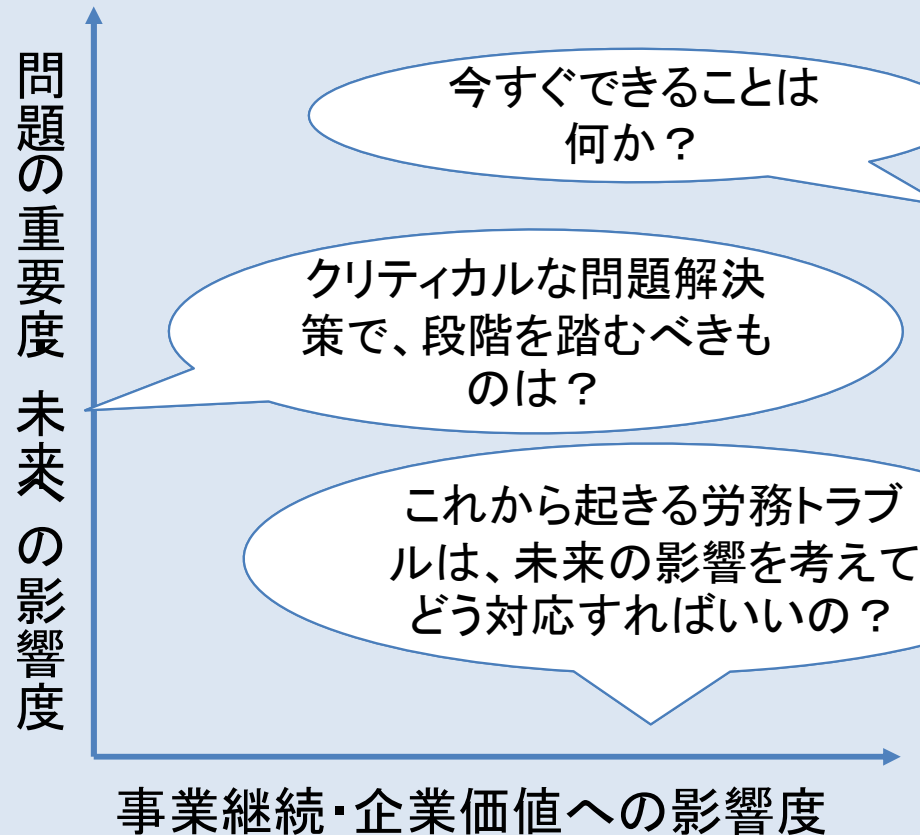
宮嶋事務所の伴走型支援

IPOはゴールではない、価値向上の未来の姿へ: 上場はあくまで企業成長の通過点

事業継続(ゴーイングコンサーン)の最優先: 企業価値(株主利益)の向上を踏まえ、ビジネスの現実と法律のバランスを取ります

こうすればできるを考える: 審査の壁を乗り越えるための、心強い「伴走者」として機能します

課題の「重要性」、事業の「継続性」を見極め 現実的な対応策を提案します



重要性の原則

問題の重要度や未来の向かっての**事業計画に与える影響度**を計りながら、問題解決の**優先順位**と**粒度**を検討する

継続性の原則

事業継続や**企業価値**への影響度を考えながら、問題を解決もしくは治癒の方法を検討する

すべて一気に解決するのではなく重要度に応じた優先度と粒度

過去の未払い残業代（債務）にどう向き合うか？

株主利益と
企業価値

相反？

労働関係各法
と
労働者有利の考え

経営者の使命

株主から預かった資産を
有効活用すること
企業価値を高めることが最
大の使命

安易な妥協のリスク

「上場前だから」安易かつ
根拠なき労働者有利の処
理や考え方は、株主利益
の反することになる

証拠に基づく判断と処理

会社と労働者の主張が異なる場合は、
「明確な書証と根拠」に基づき
適法かつ企業価値を損なわない合理的な考えをサポートします

指摘事項の改善

IPOに向けた人事労務政策を考えるうえで

事業の継続性
(ゴーイングコン
サーン)

企業価値
(株主利益など)
の向上

ステークホルダー（株主など）に約束した
事業計画の影響度を測りながら対策を行う

IPOゴールではなく、その先の3年、5年、10年の貴社の姿に合わせ
た施策を一緒に考え伴走いたします

目指すのは 「自ら考えて、行動できる組織づくり」

① 主体性

当社としてこう考え
ます

② 根拠と実効性

なぜならばこうだか
らです

③ 根拠の担保

専門家には確認済みです

自ら市場対話すること：自らの言葉で語れることの重要性

上場という機会をもって、組織が最も強く進化する機会に
全力で伴走支援いたします